

物集高見 たかみ 國學者、文學博士。弘化四年五月二十八日豊後國生乳
 昭和二年六月二十三日歿（一八四七一—一九一八）。幼名素太郎、善五郎。號理
 書居士、鶯谷等。國學者物集高世の長男。玉松操、平田銀胤等（小學）
 明治二年神祇官官教史生、十九年帝國大學教授、文部省記録課長等歷
 任。『群書索引』、『廣文庫』の編纂に有名。『物集高見全集』全五
 卷（昭和九年—十年刊）がある。國文學者物集高量、たかひら 小説家大倉輝子、
 藤浪和子わづなの父。

著書『日本小辭典』（編、明治十一年五月一日版權免許・六月跋、吉坂
 川半七出版）、『言文一致』（明治十九年二月二十一日十一堂）、『お
 ぼづかひ教科書』（明治十九年四月十一日十一堂）、『くまは教科
 書』（明治十九年十月十一堂）、『日本大辭林』（纂、明治二十七年
 六月十六日宮内省藏版、吉川半七 林竹次郎刊）、『新國文中學讀本・第二』（明
 治二十年二月十一日金港堂書籍株式會社）、『標世繼の歌』（明治二
 十年六月二十日金港堂書籍株式會社）、『日本の人』（明治二十二年
 七月二十五日自刊、國學院）、



『訂日本文明史略』（明治二
 十五年八月二十一日大日本圖書株式會社）、『新譯白木秀歌選一
 （玉木愛石書、大正二年九月五日精華堂書店）、『新譯白木秀歌選一
 附録日本短歌變遷史』（選、物集高量譯、大正五年一月二十八日嵩山
 房）、『國體新論』（大正八年八月十五日廣文堂刊行會）、『少年言
 行録』（大正九年五月十一日國民

教育研究會出版部）、『濟時危言』
 （大正十一年二月二十日廣文堂刊



行會)、
『行脚奇蹟ものかたり』(大正十一年四月・千白雄文堂)、
『和歌抄』(大正十一年十一月十日廣文堂刊行會、酒井雄文堂發賣)、
『女流和歌抄』(大正十二年一月十日廣文堂刊行會、酒井雄文堂發賣)、
『繪解源氏物語』(大正十二年二月十日酒井雄文堂)、
『大正小治政大辭典』(訂正改版・大正十二年二月二十日盛陽堂)、
『評詠史歌選』(大正十二年六月十日酒井雄文堂)、
『忠孝譜』(大正十四年二月五日酒井雄文堂)、
『人界の奇異と神界の幽事』(大正十四年十月二十日嵩山房)、
『烏八白』(合著・友清九吾編、昭和二年五月九日山口・天行居)等。